



けんせつ

じょうしょう

上小

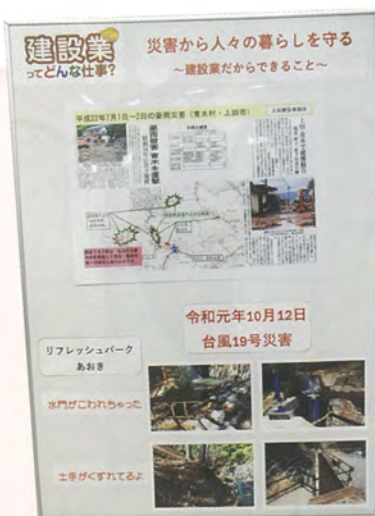
2024
第34号

CONSTRUCTION JOSHO

長野県建設業協会上小支部広報誌
2025年(令和7年)3月1日発行

創造・喜び・実感産業

地域と未来をつなぐ建設の力



目次

- 支部活動報告①中学校へ周知 2~3
青年部会が職場体験と防災訓練
- 支部活動報告②育成事業 4~7
「建設業図鑑」配布、高校生現場見学会ほか
- 支部活動報告③建設業をPR 8~9
安全・安心イベント2024ほか
- 支部活動報告④人材育成など 10~11
ハローワークの見学会、連携協定で意見交換会
- 千桜会 12~13
懇談会・安バト・イベント、活動も盛りだくさん
- 支部活動報告⑤上小に仕事量の確保を 14
県現地機関との意見交換会など
- 建設業に新しい風 インタビュー 15
- 上小支部の仲間たち 16~17
- 支部活動報告⑥パトロール・防疫対策、編集後記 18

青木中学校で 防災の重要性を 伝える



■ 青年部会が職場体験と防災学習

9月2日、長野県建設業協会青年部会（北澤隆洋部会長）は青木中学校（青木村）の全校生徒85人を対象に講座を開きました。

当日は2部構成で職場体験・防災学習を実施しました。第1部では建設業の仕事を紹介するDVDの上映、台風19号災害復旧の話、そして現場で働く女性の話を座学で学びました。上映されたDVDはYoutubeでも視聴可能で、若者向けに分かりやすい内容となっていました。災害復旧、現場に携わった北沢さんの話では生徒たちが真剣に耳を傾け、熱心にメモを取る姿が印象的でした。



台風19号災害の復旧に携わった宮下組の北沢智明さん



建設業の魅力を伝える
キャラクター「ケン」と「セツ」

ケンが担当します

セツといいます

アニメーションで理解を深める



VRで臨場感ある体験は貴重だった

第2部では360度カメラや重機乗車、耐震模型実演、青木村で発生した災害復旧工事のパネル展示が行われ、生徒たちは和気あいあいと楽しみながら各コーナーに取り組んでいました。

重機乗車体験では、ヘルメットの顎紐を結ぶのに苦戦しつつも、指導を受けながらしっかりと装着し、安全意識の高さがうかがえました。

質疑応答では、生徒からの「建設業は儲かりますか?」という質問に「〇〇ぐらい儲かります」との回答があり、会場が盛り上がる一幕も。生徒たちが積極的に参加してくれた、充実した回となりました。



重機体験、うまく動かせるかな?



模型の上に雨を降らせて洪水を知る



模型で建築の耐震のメカニズムを知る



青木村の話に興味津々

小学生に建設業の仕事を伝える

青木小学校 (7月18日)



「建設業図鑑」を手にする児童



建設業の仕事を説明する佐藤支部長

今年度は各小学校への配布。青木小学校・長門小学校へは、実際に授業の一環として5・6年生に手渡しました。佐藤支部長が「建設業図鑑」と「けんせつ上小」を使い、建設業が道路や橋などのインフラを建設していることや、町の安全・安心を守っていることを紹介。前半、1月に発生した能登半島地震を例に挙げ、「テレビに映る自衛隊や消防士が現場に到着する前に、真っ先に建設業が駆けつけている」と伝え、児童からは「家を建てる以外にも町を守っていることを初めて知った」「自衛隊や消防士だけでなく、建設業もテレビに取り上げてほしい」などの声が挙がりました。また、長門小学校では、ドローンの操縦、地元でおこった災害復旧工事等のパネル展示、バックホーの体験乗車も行い、教頭先生をはじめ、子どもたちの興味を引くことができましたと思います。種まき終了です。あとは、芽が出て就職してくれたらいいなあ。



長門小学校 (7月24日)



操作を指導する支部会員



パネルで工事の様子を紹介



全員で記念撮影

インターンシップ

上田千曲高校の生徒が就業体験 (7月25日～8月21日)



重機の操作に挑戦



説明を聞く生徒たち

施工現場での作業体験のほかに、建設重機の操作やドローンの操作も体験してもらい、「学校では学べないことに触れられてとても有意義だった」との感想をいただきました。また「実際の現場を知ることにより、自分が企業に就職した時のイメージを知ることができた」との感想もありました。この経験が地元建設企業への就職に繋がることを期待します。

企業説明会

6社が上田千曲高校の生徒にPR (12月10日)

今回も各社が個別ブースに分かれての説明でしたが、建設業のPRや各社の説明を直接高校生に行えたのは良い機会でした。高校生が一番知りたい給料や休日・資格の話など、関心を持ってもらえるよう効果的な説明を心掛けました。実施後のアンケートでは、「説明を聞き、地元企業で働きたいという思いが強くなった」「進学希望だが、将来的には地元で働きたい」などのうれしい感想もありました。今回の説明会が高校生の疑問や不安の解消となり、建設業への関心に繋がることを願っています。



北澤土建 (株)



(株) 栗木組



春原建設 (株)



竹花工業 (株)



(株) 羽田組



柳屋建設 (株)

高校生現場見学会

上田千曲高校建築科3年生 (5月23日)

上田市立第五中学校 (施工：宮下-北澤JV)



第五中学校卒業生の皆様からのリクエスト。
省エネルギー設計、採光など安全面だけでなく、生徒のゆとりと潤いある学習環境を目指して設備整備方針を計画していることに感動しました。
現在進行形の建設現場を拝見させていただき、足場・構造・間仕切り・墨出し・塗装など実際に作業している様子を見ることができてよかったです。職人の皆さんの仕事は専門性に特化していて、カッコいいと感じました。

道の駅「八千穂高原」(施工：畑八開発様)



道の駅「八千穂高原」は休憩所・直売所・飲食店・コンビニなど道の駅としての一般的な機能のほかに、観光案内所や子育て支援機能、さらには指定緊急避難場所など様々な機能を集約した設計になっていることに驚きました。
メンバーの設計者のお話から「設計士は、実際にその現場に行ってみないと設計図は描けない。その土地の風土、におい、雰囲気、山や川からの風や水の音などを感じて設計している」という言葉が印象的でした。

ご依頼しましたどの現場も、設計や施工について専門的なお話以外にも「なぜこの仕事に就いたのか」や、同校の卒業生をメインに現場案内をしていただくなど、より身近に建設業を知っていただく工夫を凝らして説明していただきました。ご協力ありがとうございました。

上田千曲高校建築科2年生 (10月25日)

ホテルルートイン須坂、ヤマダ電機、ホームセンタームサシ (施工：(株)守谷商会様)



60億円という現場の規模の大きさに感動し、卒業後は大規模建築物の建設に携わりたいと思う反面、責任の重さを感じました。新たな工法を取り入れることで職人減少に対応するなど、建設現場で行われる様々な工夫について学ぶことができました。

小諸市懐古園動物園 (施工：竹花工業様)



CLT材の天井の強度や利用方法について説明していただいたことが印象的だった。
動物に合わせた獣舎の工夫や来園者が動物の魅力を最大限に感じるための配慮など、様々なことを考えて設計や施工が行われていることがわかりました。懐古園の説明を聞くのは初めてだったので、知らないことがたくさんあって驚きました。完成したら家族と訪れたいと思います。

上田千曲高校建築科1年生 (11月6日)

千曲市屋代保育園 (施工：更埴建設様)



歴史や街並みに「なじむ」施設、地域に開かれた保育園、不審者対策、送迎しやすい動線計画、災害時対応など様々なことを考慮して設計されていることに驚きました。

子どもたちが楽しめる工夫、地域の方々も使いやすい計画、安心安全な保育園を目指して設計や施工をしている姿に感動しました。

東御市滋野児童館 (施工：(株)東建工業様)



授業で制作している軸組模型の中を歩いて見学しているようで、とても興奮しました。

建築構造の授業で勉強した部材の名称なども説明に出てきて、普段の授業が自分の将来につながっていることを実感しました。

千曲高校建築科の卒業生が活躍している姿を見て、自分もがんばろうと思いました。

安全・安心イベント2024

来場者と交流し建設業をPR (9月7日)



当日は快晴に恵まれた



バックホー試乗体験

今年も快晴に恵まれた「安全・安心イベント」に大勢の方にお越し頂きありがとうございました。普段はなかなか体験できない建設機械試乗やドローン操縦、高所作業車体験では、子どもさんから大人まで大きな歓声で賑わいました。

このイベントを通じて、一人でも多くの方に地域の安全や防災について考えて頂くきっかけになればと思います。

Asisol.LLC (アジソル共催)



ドローン操作体験



パネルでは様々な現場を紹介



ワークショップ



完成品は好評だった

セミナーで若者の特徴や対話法など学ぶ

9月24日、長野県中小企業団体中央会との共催で、「コミュニケーション向上・若年者離職防止セミナー」を開催しました。合同会社リベレーターによる「若者世代理解と教育の工夫」「職場の『不』を解消して離職を防ぐ」「コミュニケーション理論と実践」の3つをテーマに研修を行い、会員企業などから14人が参加しました。

相手を理解し、コミュニケーションを取り合うには、聴く力(傾聴技術)を高める必要もあることを学びました。うなずきや目線、身体の向きなので真剣に聴く姿勢を示し、共感と感心があることが伝われば、相手(話し手)も安心して話しができるのではないかと思います。



若年者の特徴を学ぶ



「傾聴」の実践

上小支部創立100周年特別委員会

令和8年の式典に向けて記念誌の制作進む

令和2年9月25日に準備委員会(正副委員長)で委員を選出しました。

記念誌作成にあたり、80周年に記念誌を発行しているので、そこから20年間にあった主なできごとを記載することにしました。

この20年の間は、アナログからデジタルへの転換期でもあったことから、記録として残したいデータが無かったものもあり、情報を集めることに苦労することもありました。また、令和2年からは、新型コロナウイルス感染症の流行もあり、思うように全体での委員会を開催できず、その中でも正副委員長、事務局、新建新聞社で内容を検討していました。

ようやくコロナも落ち着き、令和6年からは、全員出席で委員会を行えるようになりました。現在は、令和8年1月30日の創立100周年記念式典に向けて、記念誌の作成、式典の準備を進めているところです。



建設業の現状をハローワークへ発信

職員向け見学会を開催 (8月28日)



平井バイパス



説明に耳を傾ける職員



古戦場テニスコート、クラブハウス

普段、求職者の方に職業や会社を紹介しているハローワークの担当者に現場を見学していただき、私たちの仕事を直接理解してもらい、大変有意義な機会となりました。今回の取り組みは、建設業の人手不足解消を目的に協会が提案し、実現したものです。当日は、建築現場と土木現場のそれぞれ1カ所を見学していただきました。質疑応答の時間には、若者や女性の建設業就労に関する質問が挙がりました。これに対し、支部長から「若者や女性にはICTが非常に適している」との説明があり、ハローワークの担当者にも建設業への積極的な入職を推進していただけるよう依頼しました。このような活動を通じて、建設業に興味を持っていただき、入職のきっかけとなることを期待しています。

求職者が建設現場を肌で感じる (11月29日)

11月29日、ハローワーク上田の求職者向け現場見学会を初開催しました。8月の職員向け現場見学会を経て、求職者にも現場の様子を直接見聞きしてもらいたいと両者が協力して実現したもので、建設業に関心のある求職者が参加しました。

フリートークでは求職者から就業時間についての質問が挙がり、支部側から「働き方改革で工期が以前より長く取られるようになったことで残業などはほぼなくなっている」と説明しました。



荻窪バイパス



上田市立第五中学校

連携協定に基づく意見交換会

包括的連携協定・・・上田建設事務所と上田千曲高校と上小支部が多様な分野で包括的に連携・協力し、建設業界を支える有為な人材の育成に寄与することを目的とする

取り組み継続が重要 (11月19日)



山村大晴さん



出川奈美恵さん

今年の意見交換会は、上田千曲高校卒業生の方も参加し、実際に就職した会社の雰囲気話をしてくれました。卒業後に栗木組に入社した山村大晴さんは、「地元企業に就職するために必要なものはコミュニケーション能力。わからないことは自分から聞かないといけないことを実感した」と、同じく出川奈美恵さんは「私は千曲高校を卒業して栗木組に入社し、今に至っているんですが、この間に育休を取ったり、一度は辞めてパートに戻ったりといろいろな制度・勤務形態を経験させてもらい、今の自分があります」と話してくれました。また、同校へは昨年に続いて検定練習用の木材を贈呈しました。

教材提供

上田千曲高校へ検定練習用教材 35組を贈呈



技能検定課題

一、技能検定練習用木材
三十五組分
右の通り、贈呈致します
令和六年十一月十九日
長野県建設業協会 上小支部
支部長 佐藤 公明
長野県上田千曲高等学校 殿

目録

誰もが力を発揮できる業界へ

～認め合い、高め合い、やりたいことができる未来～

建設業界の変革や女性活躍の可能性を求め様々な活動に取り組んでいます。
けんせつ女子は誰よりも建設業が好き！建設業の魅力を発信し続けます。



共創できる建設業になるために ～千桜会懇談会～

「誰もが自分らしく働き続けられる建設業になるために」をテーマに3度目の懇談会を開催しました。
一昨年、昨年と続き出席くださった長野県議会議員の清水純子さん、上田建設事務所の中島所長、今回初参加の上田地域振興局の柳沢局長にも各グループに入ってください意見を申し合いました。
これまでと趣向を変え、上田建設事務所の森泉整備課長発案の各々意見を付箋に書き、それを模造紙に貼って、各グループリーダーがカテゴリ別に分類する「ブレインストーミング」「K」法というやり方でアイデアを可視化する手段を用いました。



グループ別のブレインストーミングによる議論は、年齢性別を超え様々な意見を聞くことができました。

最後は皆、立ち上がってしまうほど大盛り上がり！業界全体の「光」を感じました。



安全で働きやすい職場環境を目指して ～年末パトロール～

技術職、事務職の千桜会のメンバーで安全パトロールに行ってきました。女性ならではの細やかな目線で、3K（きつい・汚い・危険）のイメージが強い工事現場の環境をより良くし、安全で快適な現場づくりに繋がればと思っています。



「点検項目の見える化」

工事看板や掲示物には各社の見やすい工夫がされていて、地域の方への気遣いが見えます。



家族で楽しく!タオルで作る動物たち ～安全・安心イベント～

楽しみながら安全や防災について、見て学ぶイベントにも参加しました。
千桜会では、昨年に引き続きタオルを使ったクマちゃん作りに加え、タオルで作るワンちゃんと手袋で作るウサギさんが増えました。作れる動物、タオル、リボン等選べるものも増え、子ども達の個性が更に光っていました。



多くのご家族が来てくれました。お土産のあめちゃんも喜んでもらえて、忙しいけど楽しいふれあいの場でした。



クマちゃんに続きワンちゃんも大人気！教えられるようにと作り方を覚えるのは大変でしたが、たくさんの笑顔が見れて嬉しかったです。



女子会のお弁当日記

今回のお弁当は「香青軒」さん懇談会前のご飯、たくさん食べて元気いっぱいでした！



上田市中央3丁目12-1「香青軒」

香青軒さんのお弁当は和洋中華エッセイ豊かなおかずが入って女子にも大人気。ボリューム満点大満足です！

千桜会員募集中

女性が働きやすく、働き続けられる職場環境を整備するために千桜(さくら)会は活動しています。技術者、営業担当者、事務職の女性の皆さん、一緒に参加しませんか？上小地区の建設業界で働く女性を応援しています！



千桜会広報委員会

- Member
 会長：石塚 夕起【(株)宮下組】
 副会長：伊東 由香【(株)東部開発】
 会員：金井のぞみ【(株)創恒】
 金井 彩香【(株)創恒】
 塚本 優【(株)羽田組】



実務者との研修会と意見交換会

技術者の声を聞く（6月25日）

建設業者が日頃から抱えている問題点などを本音で話し合える有意義な意見交換会になりました。実務者からは、災害対応・品質確保・安全対策など現場で働く技術者の声を直接発注者に届けました。現地機関へは、週休二日制の問題点（生産性と休日のバランス）など諸問題を提案しました。



研修会「補修補強対策工事の実際」



班に分かれての意見交換会

県現地機関との意見交換会

入札制度の改善などを要望（7月26日）

上田市で行われた県現地機関との意見交換会は、入札制度や工事書類、女性の雇用促進など24項目について意見を交わしました。支部からは参加資格で「4週8休」の加点について移行期間を設けることを要望しました。また、災害復旧に従事した技術者が総合評価方式で不利にならない配慮を求めました。



建設業に新しい風

岩下めぐみさん 有限会社岩下組／一般事務・経理 入社5年

前職は保育士をしていました。嫁ぎ先が岩下組でしたので、いずれは手伝おうと思っていました。実際仕事に携わるようになると作業の大変さも分かって来て、出掛けた時など自然と工事現場に目が向くようになり、作業をされている人を見掛けると（心の中で）「お疲れ様です」と呟いています（笑）

私が入社した年に台風19号の被災があり、災害復旧に携わる建設業の方々のご苦労や努力には日々感謝でした。そして建設業は住民の生活に大きな関わりがあることも改めて実感しました。ですので多くの方に建設業の力と必要性を知っていただけたら嬉しいなと感じています。

日々勉強で意欲を持って仕事に取り組めたらな



と思っています。それには心身ともに元気でいたい！健康第一で頑張りたいです。

家庭菜園や花壇づくりを楽しんでいます。秋、花壇にチューリップなどの球根を植えたので、春暖かくなって花が咲く頃が楽しみです。

清水悠司さん 株式会社羽田組／入社2年



父親が建設業をやっていて興味を持ち、高校では建築・土木科に。学んでいく中で、将来は建設業に就きたいと考えるようになりました。

高校生の時に職場体験があったのですが、先輩に「羽田組においで」という言葉をかけてもらいました。皆さんにすごく優しく、丁寧に教えてもらいました。体験の中で、皆さん仲良く、楽しく、でもやる時はやるのを見て、休憩する時も楽しい中に程よく距離感もありました。そんな環境で仕事をしたいと思いました。

どんな小さな現場でも、皆さんと協力し、皆さんと話し合って問題を解決できるところにやりがいを感じます。皆さんと協力してできた構造物が残ると達成感があります。

今後は資格をたくさん取り、現場監督になりたいと思っています。もっと仕事を覚えて、作業員にわかりやすく説明でき、図面も作成し、「清水の仕事はわかりやすい」と思ってもらえるようにがんばりたいです。

長野県建設業協会

上小支部の仲間たち

令和7年2月現在

<p>建設業 青木建設工業株式会社 クレームゼロの仕事に心掛けています。 代表取締役社長 青木友和 上田市上丸子1706 TEL.0268-42-3127 FAX.0268-42-3708</p>	<p>千曲建設工業株式会社 上田市諏訪形973-1 TEL. 0268-22-3835 E-mail : info@chikumakk.co.jp https://www.chikumakk.co.jp</p>
<p>特定建設業 有限会社 岩下組 代表取締役 岩下通孝 小県郡青木村大字村松1721 TEL.0268-49-2023 FAX.0268-49-2774</p>	<p>東部開発株式会社 代表取締役社長 柳沢昌美 〒389-0506 長野県東御市柵津1304 TEL.0268-62-0480 FAX.0268-64-3848 E-mail : info@tobu-kaihatsu.jp</p>
<p>法令を遵守し施工致します 株式会社 金井組 代表取締役 北田雄一 小県郡長和町大門119 TEL.0268-68-2137(代) FAX.0268-68-2677</p>	<p>HATA 株式会社 羽田組 代表取締役社長 佐藤公明 小県郡長和町和田1540-1 TEL.0268-88-2012 FAX.0268-88-2774</p>
<p>自然に囲まれたこの環境を私達の手で大切に守りたい。 後世に残る品質と信頼を目指して... 北澤土建株式会社 本社 長野県上田市武石沖471-1 TEL.0268-85-2039(代) FAX.0268-85-3394 URL : https://www.kitazawadoken.co.jp E-mail : master@kitazawadoken.co.jp 東御支店 TEL.0268-62-1674</p>	<p>大正3年創業 誠意と信用と技術で地域社会に貢献する 株式会社 宮嘉組 代表取締役社長 宮島聖二 上田市蒼久保1416-1 TEL.0268-35-0032(代) FAX.0268-35-0086</p>
<p>株式会社 倉島組 代表取締役 倉島卓司 上田市上丸子1385 TEL.0268-75-7078 FAX.0268-75-7079</p>	<p>未来を建てる。それが私たちの使命です。 株式会社 宮下組 代表取締役社長 石塚博敏 〒386-0017 長野県上田市踏入二丁目1番17号 TEL.0268-22-0271(代) FAX.0268-25-6123</p>
<p>「常に誠実であれ！」をモットーに 「技術」と「品質」で地域の明日を創造します。 株式会社 栗木組 代表取締役社長 栗木悦郎 上田市長瀬3918 TEL.0268-34-7666 FAX.0268-35-3433</p>	<p>明治15年創業 柳屋建設株式会社 代表取締役 小河原嘉彦 上田市中央 2-13-17 TEL.0268-24-3220 https://www.yanagiyakk.co.jp/</p>
<p>“地球修理工の感動産業” 建設・環境・人材育成事業を通じて地域の発展を願い 地域と行政の橋渡しをする... 春原建設株式会社 代表取締役社長 春原文浩 長野県上田市住吉1-7 TEL.0268-22-7018 FAX.0268-27-4094</p>	<p>地域を支える基幹産業 安全・安心な未来へ JOSHO</p>

<p>「頼りにされる人」の集まりでありたい TAKEUCHI 竹内工業株式会社 代表取締役社長 竹内広幸 〒384-0403 長野県東御市御牧原2433-1 TEL.0268-67-3566 FAX.0268-67-3587</p>	<p>株式会社 堀内建設 周辺環境に配慮した土木工事を提供します 技術力と信頼で地域へ貢献します 代表取締役 金森潤哉 上田市真田町傍陽2918-1 TEL.0268-75-8468 FAX.0268-75-8469</p>
<p>株式会社 創恒 代表取締役 金井利亀 上田市吉安曾1593-1 TEL.0268-39-2888 FAX.0268-39-2889</p>	<p>竹花工業株式会社 田中支店 取締役副社長田中支店長 山浦友二 東御市県518 TEL.0268-62-0144 FAX.0268-62-1119</p>
<p>株式会社 小山産業 代表取締役 小山俊夫 小県郡長和町和田1485番地1 TEL.0268-88-2045 FAX.0268-88-2035</p>	<p>“地域に根差し、地域と共に歩む。お客様の笑顔と信頼を得る” ことを大切にしています。 株式会社 小幡 代表取締役 小幡晃大 上田市材木町1丁目9-15 https://www.obt.co.jp TEL.0268-28-1877 FAX.0268-22-8590</p>
<p>三共テック株式会社 代表取締役社長 須江啓一 〒386-0002 上田市住吉370-1 TEL.0268-23-1842 FAX.0268-27-0909 [URL]http://www.3-kyou.co.jp/3-kyoutec/</p>	<p>建設業 池田株式会社 上田市真田町長7166-2 代表取締役 池田豊文 TEL.0268-72-2251 FAX.0268-72-2245 千串屋 TEL.0268-71-0357 FAX.0268-71-0358</p>
<p>信頼と技術と真心でお応えする住み良い街づくりのパートナー 山真建設株式会社 代表取締役 山岸信幸 長野県上田市芳田2114-7 TEL.0268-35-3651 FAX.0268-35-3688 URL : https://yamashin-c.jp/ E-mail: info@yamashin-c.jp</p>	<p>豊かな郷土づくりに貢献する 木島建設株式会社 土木・建築・造園・設計施工 〒386-2201 上田市真田町長6116-1 TEL.0268-72-2267 FAX.0268-72-4160</p>
<p>株式会社 関南 代表取締役 大森一馬 上田市住吉331-3 TEL.0268-25-0706 FAX.0268-25-0707 [URL]https://www.tonami1073.net</p>	<p>MATSUI 株式会社 松井建設 技術・品質・サービスを地域の皆様へ!! 代表取締役 松井智哉 長野県上田市武石小沢根215-1 TEL.0268-85-2709 FAX.0268-85-2409</p>

パトロール



労働災害ゼロを目標に、10月29日会員企業の現場を自主パトロール、12月4日監督官庁及び県の発注機関にご同行いただき年末パトロールを実施しました。

パトロールの目的は、現場の安全点検はもちろんですが、各現場の良かった点や創意工夫なども報告会で発表され、色々な情報を共有して働きやすい安全な現場を目指しています。「皆様ご安全に」

特定家畜防疫対策

現地確認とフロー検討

8月9日、関係機関と合同で鳥インフルエンザ発生に備えた埋却地の確認を行いました。当支部と上田地域振興局、佐久家畜保健衛生所、上田市の職員が上田市内の養鶏場に集まり、有事の際に埋却地となる場所を確認しながら目隠しフェンスの設置場所や重機の動線、掘削箇所などを検討しました。また、解体・掘削・運搬など埋却作業に欠かせない重機のサイズや台数、搬入出の動線などを協議しました。

協会からは「無線機を使いながら一般車の誘導と作業車の誘導を効率的に行うべき」「当日の連絡調整を確認するためにも演習を行いたい」との声が挙がりました。



昨年の埋却演習に引き続き、8月に養鶏場の現地確認をし発生時の初動体制など細かく調査をしました。今年は鳥インフルエンザが多く発生しており11月に発生を想定して集合・健康観察・防護服の脱着等の訓練を行いました。出勤なく無事このシーズンを乗り越え春を迎えられるよう願います。



この一年を振り返ると、建設業を取り巻く環境が大きく変化したことを実感します。令和6年1月の能登半島地震では、迅速な災害対応の重要性が改めて浮き彫りとなりました。また、4月から始まった時間外労働の上限規制や年5日の有給休暇取得が必須となる「2024年問題」は、業界全体に新たな働き方を模索させる契機となっています。

「けんせつ上小」では、小中学生の職場体験や高校生向けの現場見学や企業説明会を通じて、未来の担い手を育成する取り組みを紹介しました。また、安全・安心イベントや特定家畜伝染病埋却演習を通じた地域社会への貢献も報告しています。

建設業の未来を見据え、これからも地域とともに成長し続ける姿をお伝えできれば幸いです。

発行所 上小建設事業協同組合
TEL 0268 - 24 - 8133 FAX 0268 - 27 - 1425
<https://jousho-k.jp/>



発行責任者 佐藤 公明
編集責任者 岩下 通孝
制作 新建新聞社